

図書館と県民のつどい埼玉 2014報告



2014年12月14日(日)にさいたま文学館・桶川市民ホールで、「図書館と県民のつどい埼玉 2014」が開催されました。記念講演・講座・ビブリオバトル・展示で、約2400人の方に御参加いただきました。午前に行われた記念講演では、作家の辻村深月さんを講師にお迎えし、「フィクションの向こう側—小説家という仕事について」をテーマに、お話ししていただきました。午後には、子ども読書活動交流集会の3つの講座(詩・わらべうた・科学読み物)が行われたほか、今回初開催のビブリオバトル<知的書評合戦>や、工夫を凝らした様々な展示コーナー(辻村深月氏著作展示・県内各図書館の紹介・ブックケア・大学図書館の所蔵資料展示)など終日大勢の方でにぎわいました。(詳しい内容は、埼玉県図書館協会のウェブサイトまたは「図書館と県民のつどい埼玉 2014 記録」をご覧ください。)

記録から わらべうた講座 わらべうたは豊かな言葉の世界—子供と本をつなぐために—

『ぼくの絵本わたしの絵本』(プランニング遊)の著者、石川道子さんを講師に迎え、わらべうたの素朴さや本来持っている歌の力について、実践を交えながら楽しくお話ししていただきました。

紹介されたわらべうた

♪「いもやのおじさん」

2人1組でくすぐり合いっこ。

♪「どうどうめぐり〜」

2人がトンネルをつくり、他の人は歌いながらそこを歩いていく。「かっちゃんこ」の部分で腕の間に1人を捕まえる

♪「どんぐりころちゃん」

あてっこゲーム



わらべうたをする上で大切なこと

- ①高い声、愛情を込めた声で歌う。
- ②年齢が低ければ低いほど、ゆっくり歌う。
- ③繰り返し歌う。(最低5回)
- ④こどもの様子をよく見る。
- ⑤次のおはなし会でも、同じわらべうたを入れる。
- ⑥プログラムを組む時は、わらべうたと絵本を分け、交互にやらない方が良い。
- ⑦わらべうたのカードをつくと後で確認ができる。
- ⑧しっかり覚える。



Shienくん ⑬

ぼくのおススメえほんクイズ



ヒント その1
きつねが しゅじんこう



ヒント その2
3人のおかみさんが
こちせうをたしてあげる



ヒント その3
きつねがへんせうするヨ



クイズの答えは...

埼玉県立久喜図書館 臨時休館等のお知らせ


- 埼玉県立久喜図書館 耐震補強その他改修工事により**休館**いたします。
平成27年3月16日(月)~5月15日(金)
窓口のサービスをお休みします。久喜図書館所蔵資料については、インターネットでの予約ができません。
詳細:埼玉県立図書館ウェブサイト(<https://www.lib.pref.saitama.jp/>)
- 子ども読書支援センター 「講師派遣」「講師紹介」「講座の企画」のご相談は、休館中も受け付けています。
問い合わせ: 0480-21-2659(kuki-jido@lib.pref.saitama.jp)

編集後記

幼かった子どもと一緒に本に親しんだ日が懐かしく思われます。お母さんやお父さんは一緒に過ごせる短い時を大切にしてほしいと感じる今日この頃です。(子ども読書支援ボランティアS)

編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
TEL 0480(21)2659 (代)  彩の国
FAX 0480(21)2791 埼玉県



Shien 第19号

こどもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成27年3月1日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

【目次】

- 地域のこどもは地域で育てる.....1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座⑱.....1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑱.....2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から.....2
- ブックリスト担当から.....3
- インターネットからの情報収集担当から.....3
- 図書館と県民のつどい埼玉2014報告.....4
- 県立久喜図書館 臨時休館のお知らせ.....4

地域のこどもは地域で育てる

かれこれ三十数年前、音訳の講習を受けた折のこと。会長との個人面談があり、全盲の会長さんが、「ボランティアは、音訳する書物などの山場を決めて読んでいるが、どこが山場か大事かは私が決めることで、あなたが決めることではありません」とおっしゃいました。目からウロコ!! ボランティアとは、まず相手の方や組織が必要としていることに応える人であり、自分の好みや良かれと思うことを提供する人ではないことを知りました。とは言え、自分の好きな分野で携わることで、子どもと共に自分も育つ喜びが得られるというものです。私の立ち位置は、地域のこどもが、自力で自分を育てられるようになるまでを、絵本・児童文学・語り・わらべうたを助っ人としてお手伝いすることだとスッキリ納得したのです。言いかえれば、自分のこどもを地域に育ててもらったお礼であり、この営みは営々と繰り返されてきた筈です。また、好きな分野といっても、関係者全てに、学習が必須です。ボランティアは黒子であって、際限があるよな無いよな責任と奥の深い学習!



以上は、私が目指していることです。解っていても、実行するのは難しい。読み聞かせのボランティアになろうという人は僅かしかいません。そんな少数派の私たち。実行できているのは、仲良く楽しく歩いていくこと位のような。

近藤幸子(浦和子どもの本連絡会)

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑱

読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。昔話はとても奥深いもの。今回は、昔話の魅力について紹介します。

文字の力を借りず、長い歳月を口から口へと伝えられてきた昔話は、物語の内容も形も、無駄がそがれて磨き抜かれています。何より「声」で届けられた時に、聞いている人が一番楽しめるように工夫が凝らされています。どこの国の昔話でも、こどもたちの前で語ると、びっくりするほどよく聞いてくれます。15分以上の長さでも、最後まで目をきらきら輝かせ「それからどうなるの?」と先を促してくれるのです。

では実際に、どのような昔話をこどもたちに語ったり、読んであげたりしたらよいのでしょうか。

最初はとにかくたくさんのお話を読んでみて、その中で「好き」と思えたものの中から、6~10分程度のお話を選ぶのがよいと思います。小学4年生くらいになると、いろいろな内容と長さの昔話を楽しめるようになってきます。こどもの「聴く耳」が育ってきたと感じたら、高学年ではぜひドキドキする冒険話やドラマチックな運命の話なども聞かせてあげてください。

気を付けたいのは、短い方が語るのも聞くのも簡単だと勘違いしがちなことです。短い話ほど難しいことは、よくあります。ユーモアも、小さい子には伝わりにくいものです。小さい子ほど生真面目に、言葉通りに話を受けとめますから。

こどもがすぐに反応しなくても、くじけず読み続けることも大切だと思います。「声」も「耳」も、慣れるまでには少し時間がかかります。昔話の底力を信じて、焦らず、たゆまず、読み(語り)続けましょう! 甲斐智子(おはなしボランティア「トムの会」)

すごい!!



おすすめ昔話集

- 『おはなしのろうそく 1~30』(東京子ども図書館)
- 『子どもに聞かせる世界の民話』(実業之日本社)
- 『ロシアの昔話』『イギリスとアイルランドの昔話』(福音館書店)
- 『山の上の火』『白いりゅう黒いりゅう』(岩波書店)
- 『日本昔話百選』(三省堂)
- 『子どもに語る』シリーズ(こぐま社)



川口あそびと読書連絡協議会

子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩

「川口あそびと読書連絡協議会」という、なにやら覚えにくい名前の会です。
川口市内で活動をしていくつかの「おはなしの会」や「親子読書の会」などが手をつなごうと生まれた会で、以来、交流や研修などを中心に様々な「場」を作ってきました。発足は平成元年なのでこちらは覚えやすく、今年で設立 27 年目です。10 年程前から、小学校で読み聞かせをしている会の入会が増え、現在は、22 の団体会員と 23 人の個人会員がいます。現在は、16 名の運営委員を中心に、会員の協力を得ながら主に以下の活動をしています。

☆講座や講演会の開催

講師を招いて、年 1~2 回。
近年では、斎藤惇夫さん、荒木田隆子さんの連続講座、
工藤直子さん、藪内竜太さんの講演会など。

☆学んで遊んで研修会

「絵本」「詩」「おはなし」「手づくり物」など、毎回テーマを決めて
会員が主になって開きます。年に 2~3 回。

☆会報の発行

学期に一度の発行。
活動報告や連載コラム、詩や工作のページもあります。

それなりに大きな会になりましたが、こどもの心を宿す人たちがゆるやかに繋がり、こどもたちに添いながら、良いものを伝え、手渡せる人の集まりでありたいと願います。 奥山博子（川口あそびと読書連絡協議会）



よかったらお仲間に。
問合せ：奥山（電話/FAX048-294-1876）

使えるブックリスト

ブックリスト担当から



「おすすめ読み聞かせ絵本リスト」追加作業中 Part 3

ブックリストグループでは引き続き、季節ごとの『おすすめ読み聞かせ絵本リスト』への追加作業を行っています。
現在制作中の「冬」の追加リストには、昔から良質とされている息の長い昔話や、ロングセラー作品を意識して取り入れました。
読み聞かせのプログラム(約 15 分)は、近年出版された作品との組み合わせで作ってみました。
今回は『低学年・中学年向けの冬におすすめの絵本』から、2つのプログラム案を紹介します。



低学年

- ①『そりあそび』(6分)
(さとうわきこ文/福音館書店)
- ②『きらきら』(2分)
(谷川俊太郎文/吉田六郎写真/アリス館)
- ③『ゆきむすめ』(5分)
(内田莉紗子訳/佐藤忠良絵/福音館書店)

中学年

- ①『みのむし』(9分)
(甲斐信枝文・絵/福音館書店)
- ②『お化けの冬ごもり』(5分)
(川端誠文・絵/BL 出版)

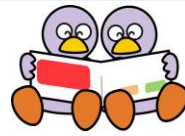


ここにプログラムとしては紹介しませんでした、
中学年向けのリストに挙げた『雪むかえの村』(竹内もと代文/西村繁男絵/アリス館)もおすすめ。
当日集まったメンバーで絶賛した作品です！

全リストはココから [web トップブックリスト](#) 中北（子ども読書支援ボランティア）

Nice to meet you!
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ



埼玉県のマスコットコパン

このコーナーでは、私たち3グループの活動の一端を

きりめき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回も前回に引き続き「ビブリオバトル」についての記事をご紹介します。

ビブリオバトルとは、5 分間でお薦めの本の魅力を語り、「どの本が一番読みたくなったか」投票を行い「チャンプ本」を決める書評合戦です。

2015 年 1 月の「全国高等学校ビブリオバトル 2014 決勝大会」に向けて、各地で予選が行われました。埼玉県大会は 2014 年 10 月 4 日にさいたま文学館で開催され、県立松山高校の今村さんが紹介した『数学ガール』(結城浩/ソフトバンククリエイティブ)がグランドチャンプ本となりました。【読売新聞 2014. 10. 5 朝刊 30 面】

2014 年 11 月 23 日に、関東・甲信越大会がよみうり大手町ホールで行われ、県内から 6 校の代表が出場しました。春日部高校 2 年生の小山さんは、『さよなら、ベイビー』(里見蘭/新潮社)への思いを熱く語り、優秀賞を獲得しました。【読売新聞 2014. 11. 24 朝刊 33 面】

さいたま市立中央図書館は「あなたがドキドキした本」をテーマに中高生の参加者を募り、2014 年 8 月 22 日にビブリオバトルを開催しました。出場者は中学生 5 名。チャンプ本は、3 年生の竹内さんが紹介した『からくり夢時計』(川口雅幸/アルファポリス文庫)に決まりました。観戦者たちの「新しい本の楽しみ方に興味をもった」「知らなかった本にも出会える」の声も掲載されています。【埼玉新聞 2014. 8. 27 12 面】

ビブリオバトルのキャッチコピーは「人を通して本を知る。本を通して人を知る」。皆さんも自分のお気に入りの一冊を抱えてぜひ参戦してみてください。

仁昌寺（子ども読書支援ボランティア）

記事の原本は
県立久喜図書館
のこども室で
見られます！
子ども読書関連
新聞記事はウェブ
サイトに掲載中！

知っ得情報！

インターネットからの情報収集担当から

** おすすめウェブサイトの紹介 **

今回はヤングアダルト(YA)に関するサイトを紹介します。

☑ ヤングアダルト出版会 <http://www.young-adult.net/>
YA 向けの本を出版する企業(現在 18 社)によるサイト。
このサイトの他、ツイッター、Facebook から情報発信。

☑ 日本 YA 作家クラブ <http://jya.iinaa.net/>
このサイトの他、ブログ、ツイッター、Facebook から情報発信。
リンクで紹介している「YA 読書クラブ」「YA*c a f e」も必見です。

☑ どくしょ応援団 <http://www.asahi.com/shimbun/dokusho/>
こどもの読書に関するサイト。「10 代の読書 ブックサーフィン」他、YA の情報が盛り沢山。

☑ 10 代のページ (さいたま市図書館) <http://www.lib.city.saitama.jp/service/ya/>
中高生によるビブリオバトルの記録を掲載。初めての開催とのことで今後は気になります。

大澤（子ども読書支援ボランティア）

☆読み聞かせ☆
☆ストーリーテリング☆

はじめての研修会 やってみませんか？

【読み聞かせボランティア
団体のための講師派遣】

■対象■小中学校や幼稚園・地域で活動するボランティア団体

■内容■初心者向け講座(2 時間程度)。絵本の持ち方、本の選び方、覚え方、語り方など。

■講師■県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者がやさしくアドバイス！

■申込み方法・期限■
開催の 1 か月前までに、
郵送またはメールで申込み

■問い合わせ■ 0480(21)2659
【kuki-jido@lib.pref.saitama.jp】
【https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html (申込書式)】